



Over the Horizon ~新たな景色へ~

8月の月目標「有意注意」



暑い盛りで、どうしても物事に対して注意が散漫になり、集中できないことが多い時季です。率直に言えば不注意になりがちで、大事なことが抜けていたり、すべきことをついうっかり忘れていたりすることがあります。怪我や事故につながらなければ幸いですが、時として大きな問題になる場合もあります。

暑いときで、注意をしづらいからこそ、意識して物事をあるいは動作を行うことが大事です。

目的意識をもって、真剣に気を込めて取り組めば、何事もうまく円滑に進むことでしょう。

蝉（セミ）の抜け殻と蝉時雨



左の写真は、大殿中の中庭にあった蝉の抜け殻です。

セミを初めとした昆虫は、幼虫やさなぎから成虫へ変化するとき、殻を破いて脱ぐ脱皮、羽化を行います。

みなさん中学生は、昆虫で言えば子どもから大人へ羽化・変化する重要な時期にあると言えるでしょう。

その際大事なことは、「蝉脱（せんだつ）」という言葉に象徴されます。いくつか意味がありますが、その中の一つに「現実から抜け出し、理想の自分になる。」というような意味があります。ぜひ新しい自分、世のため人のために頑張れる立派な自分をめざしていけるといいですね。

さらに、皆さん知っての通り、セミは成虫になって地上で過ごす期間はわずか1週間から数週間です。

まるで短い命を精一杯生きるように一心不乱に鳴いています。その聲に、一生懸命を超えた真剣さ、真摯さを感じます。誰のためでもなく、与えられた命に感謝し自分の使命を全うしているようで感動です。

下に、俳人松尾芭蕉の句を紹介します。味わってみてください。

「閑さや 岩にしみ入る 蝉の声」

鳴く蝉の種類も時期により、変化してきます。その変化に、季節の移ろいを感じることでしょう。蝉の声に耳を澄ませ、夏をしっかりと満喫しましょう。

また、俳句や松尾芭蕉に興味がある人は、もっと調べてみましょう。蝉に関しては、もう一句あります。

裏面に続く

体育祭に向けて



9月9日（土）に予定されている体育祭に向けて、夏休み期間中にも話し合い活動など準備が進められています。学校における大きな行事の一つで、皆さんにとっても大変楽しみでやりがいのある行事だと思います。

詳細な計画、綿密な準備、そして何よりも大事なことは皆さんの思い入れと全力で取り組む姿です。喜びも満足感も達成感も人から与えられるものではなく、対象に対して自分がどれほど真剣に取り組んだかによってもたらせるものであり、真剣さに対する等価交換だと思います。セミのように、一瞬一瞬を大切に全力で頑張りましょう。

OTK活動



これまでの夏休み期間に中止にならなかったOTK活動が「宿題やつつけ隊、幼児の遊びのお手伝い、つながる大殿七夕ちょうちん、小学生との交流とお弁当配付」の四つでした。協力してくれた生徒のみなさんよく頑張りました。お陰で、行われた取組がスムーズにできて、関係者の方々から大変喜ばれました。

ボランティアは世のため人のためになる大切な、立派な行いです。大殿中の先輩たちが取り組んできた良き伝統をこれからも、皆さんで守り引き継ぎ発展させていきましょう。

心を育み、脳を活性化する読書

夏休みの間に様々な本を読んだことと思います。その本を通して、いろんな気づきがあり、思い、考えたことでしょう。それらは、間接的な体験ですが長い人生の中では、きっと何かの時にふっと思い出して役立つことがあります。



『手のひらの音符』 藤岡陽子 著 新潮文庫

恋愛小説としても、家族小説としてもいいお話です。貧しい上に、才能等に恵まれていなくても、一生懸命に生きる、現実から逃げずにひたむきに生きる静かな美しさを感じます。本当に求めているものを、人は立ちあがる困難な現実のためにあきらめざるを得ない状況に翻弄されながらも、追い求め悩んでしまう姿に共感します。